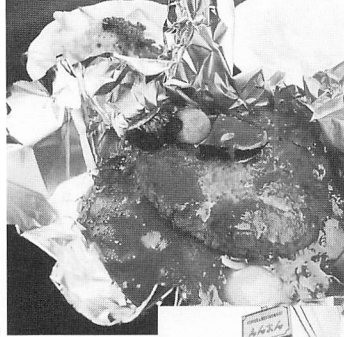
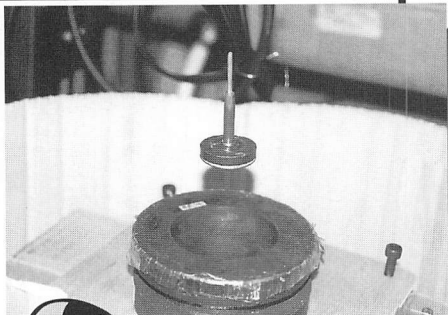


世界の味を身にまとう 洋食の帝王・ハンバーグ

なぬ? 「世界のハンバーグ」? チェーン店が林立する1号線沿いに突如現れたレストランの看板の珍妙な謳い文句。一見フツアの洋食屋さんだが、「フランスワン! スイスワン!」と店員のおばちゃんが復唱するグローバルなシステム。次々に運ばれる幅8cm強のハンバーグは、フランクフルト、デミグラスソース、カレー、モツァレラチーズなど各国名物と華麗なる競演。ドイツ、フランス、インドにスイス、その日の気分で行先を選んで、目指すは世界制覇だっ!

おもいも



ホテルで腕を磨いたご主人によるハンバーグは、注文が入ってから材料を混ぜる作り置きはナンの逸品

インド風ハンバーグ(サラダ付) 850円。この他、イタリア、ドイツなど計8カ国。サラダは自家製有機野菜ゆえシャキシャキ



えんまん
京都南インター南1km西側
☎075-621-2288 ☺9:00~20:00(日~20:30) / 月休



今月のオレが甘かった

「エ工名前考えて〜!」と御前のエジソンが切望する、磁気反応を利用し、空中浮遊する駒のウェイトは「時々刻々と変化するんや」と気分次第。発明に要した期間は5年程だとか...

YEC商会/京都発明研究会
京都市中京区四條御前通東北角
☎075-811-4135
☺9:00~17:30 / 土日祝休

会員数が僅に2000名を超える京都発明研究会。ショーケース内には、「用いる人が履きやすい」の希望に注意書きがされた「透明財布」や委託されて展示してある「折衝バラエティ」等の発明がスラリ



他の追従を拒まない!? 御前のエジソン・エディション

四條御前にエジソンがいる!とのタレコミで、満を持して突入した研究施設。が、「イラッシャイマセ」と電子音の出迎えだけで、姿は拝めず意気消した次の瞬間...、「欲があるうちは、エ工発明はでけへん」と呟く声の先に、何かを一心に回す人影を確認! そ〜と覗けば、磁石の駒を5センチほど浮かすエジソン発見! 側には無数の発明品が...。思わず弟子入りを志願するも「欲を拭い去ってからやな〜」とアッサリと一蹴。お役御免も天才的!?



今年のナンマの、ルムドールをとしたのは「戦場のロマン」(ロマンポンスキー)。日本公開までの苦闘を経て今年回はロマンポンスキーの「テナント」恐怖を借りた男である...。心理ホラーは借りた男を借りた男の作り味だ。前住人が自殺した部屋を借りていく様子を異常なまでに観察するのは、ロマンポンスキー監督本人である。スゴスゴ。入居者らしき方、御用心。部屋の明りを消して観よう。

映林的 映画の味

イラストと文
ハヤシチサコ

The Tenant

『テナント』恐怖を借りた男
(1976年・144分)
監督・脚本・主演
ロマン・ポンスキー
共演
イザベル・アジャニ

ハヤシチサコ・無類の映画好きのイラストレーターにしてグラフィックデザイナー。「Club Fame」時代には、彼女のデザインが表紙を飾ったこともあり。編集部熱望により本誌への登場と相成った。

大將軍商店街編 vol.4

その安値 あの商品揃え、この空気
もう愛さずにはいられない

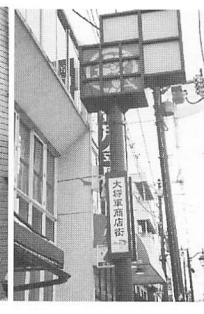
商店街 そぞろ歩き



お好み焼屋のズシコ入450円。大阪でお好み焼を食べ歩きして導き出した、キャベツたっぷりのふわふわ感にリピーター多数



好きなフライに250円プラスすると、ライスと野菜が付いたお弁当にグレードアップ。2層のフライヤーで仕上げ揚げも完璧



顔なじみになると、ネーム入りカップが作ってもらえるかも。マイカップに注ぎたいホットコーヒー300円



酒んだ瞳で通りを見下ろすお魚は、街一番の被写体としても人気。魚の小、カメ、ハムスター、小鳥などを扱う



トマトのカルツォーネ180円、プリンパン120円、スリーズシヨコロ120円など、多彩な表情が揃う「Meister」のパン



東側から攻めた散策の始まりは、「お好み焼まんぼ」。学生の懐具合を案じたご主人が、お好み焼や焼そばを350円!で出血奉仕。向いの「みたらしや千手堂」でも、手作り和菓子がいっぱい。軒並み庶民のお値段段でホッ。その先には、惣菜系、スイーツ系が豊富な「Meister」なるお洒落なパン屋さん。さらに進むと、魚のマスケットが飛び出すベトナムショップ「京都魚屋」。「御免」と掛けたお茶目な一店ながら、ウーパールーパーにも会える専門店もある。専門店といえば、天神筋道を北上した地にある「山田フライ専門店」は、コロッケ、肉、魚などあらゆるフライを目の前で揚げるので、常にサクッリアップ状態で絶対買い。そして散策の締めくくりは、創業50余年の喫茶店「AIZEN」にて。おばちゃんのお笑いとおじちゃんのカイフォンコーヒートにじんわり。一度行くとまた行きたくなる街、クセになるのは味でもあり、人柄でもあり。